

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 夜間等の視認性が低下する場面における安全教育の実施

自治体名

京都府京都市

消防団名

京都市内各消防団

1 事業の目的

夜間等の視認性が低下する場面において消防団員が安全に活動を遂行するための基礎となる安全教育資料を作成し、安心して消防団活動が実施できる環境を整備することにより、消防団活動への安全意識の向上を図るもの。

2 事業内容

成果報告書の内容を簡潔に記入してください。

(1) 安全教育資料の作成

車両側からの活動中の消防団員の見え方、視認性を高める行動要領等を映像化し、夜間や視認性の低下した状況での安全意識向上を目的とした研修資料の作成を行う。

(2) 安全教育資料を活用した実地体験訓練の実施

消防団拠点施設等において、研修資料を活用し、夜間等での見え方や活動時の行動要領を確認する。さらに色調の異なる点滅式ライトや発光式の安全ベストを使用した体験訓練を行い、安全管理要領を習得する。



3 事業成果

改善された事項や具体的な数値等を記入してください。

京都市内11消防団において、安全教育資料の確認や安全教育資料を活用した実地体験訓練(79回延べ1,035人)を実施し、消防団活動の安全性向上を図った。

今回の教育により、夜間等の視認性が低下する場面での活動要領の重要性を改めて消防団員が認識することができ、安全意識の向上に寄与する結果となった。

今後も、本事業を継続して実施していくとともに、今後、導入、更新する器材についても今回の事業により得た意見を反映するなど、消防団活動の安全性向上に努めていく。

4 目標達成状況

事業提案書(様式1)アウトプット成果指標の結果を記入してください。

指標	単位	当初目標	実績値	備考
作成本数	回数	1	8	
教育回数	人数	11	79	
受講人数	回数	1,025	1,035	

5 その他参考情報

他自治体に参考となる情報(URL等)を記入してください。